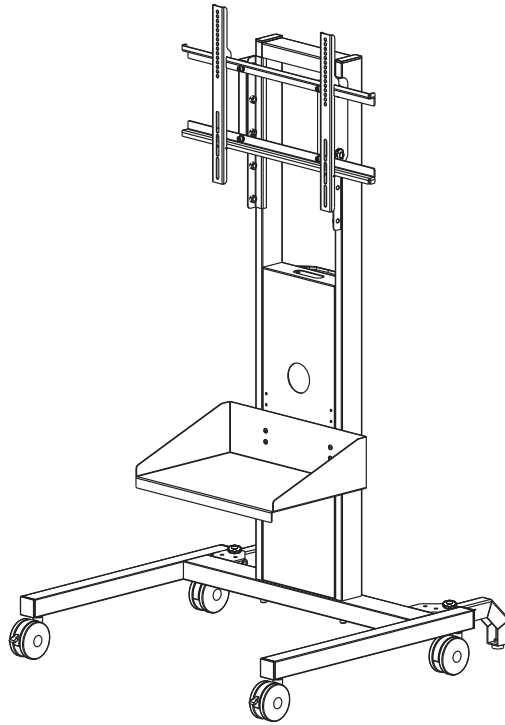


取扱説明書

FLスタンド(スタンダードタイプ)

FFP-FL-STAND80



ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しする際は、必ず2人以上（52V以上は4人以上）で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

目次

■ 安全上のご注意/警告・注意	1
■ 製品紹介・梱包部品	2
■ 「レッグ」の後ろ脚を広げる	3
■ 「レッグ」に「支柱」を取り付ける	3
■ 「支柱」に「モニター金具受け」を取り付ける	4
■ 「モニターブラケット」をディスプレイに取り付ける	5
■ ディスプレイを「モニターブラケット受け」に取り付ける	6
■ 「棚板」を取り付ける	7
■ スタンドの設置について	7
■ 保証書	8



日本フォームサービス株式会社

M 2018.7.6 第1版

安全上のご注意

必ずお守りください

お買い上げありがとうございました




ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。また、本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、誠に恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社 TEL：03-3636-0011 URL：http://www.forvice.co.jp Mail：info@forvice.co.jp

■お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。

 警告 この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。
--	---

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。	 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。	 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。

警告・注意



ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しする際は、必ず2人以上（52V以上は4人以上）で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



ディスプレイが本体に干渉した状態での高さ調整は絶対におやめください。



本製品の改造・変更は行わないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。



本製品は60kgまでのディスプレイを対象とした製品です。それ以外のディスプレイを取り付けると、ディスプレイの落下・破損など事故の原因となります。



ディスプレイの設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



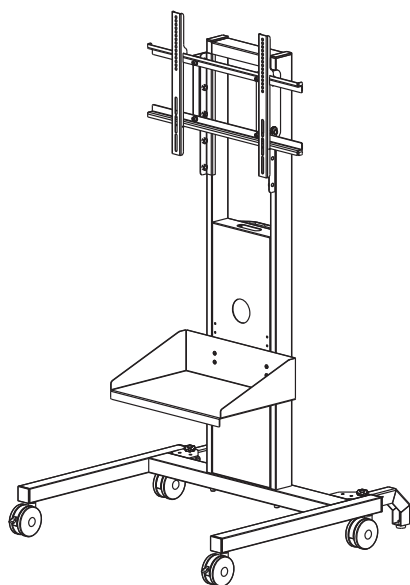
壊れた部品を使用しないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。万一、部品が壊れた場合には販売店にご相談ください。



転倒防止のため「レッグ」の後ろ脚を広げた状態でスタンドを組立・設置してください。後ろ脚を折りたたんだ状態で組立・設置すると、本製品の転倒などによる破損・けがの原因となります。

■ 製品紹介

FLスタンド〈スタンダードタイプ〉



型番	FFP-FL-STAND80
質量	約40kg
耐荷重	60.0kg

■ 梱包部品

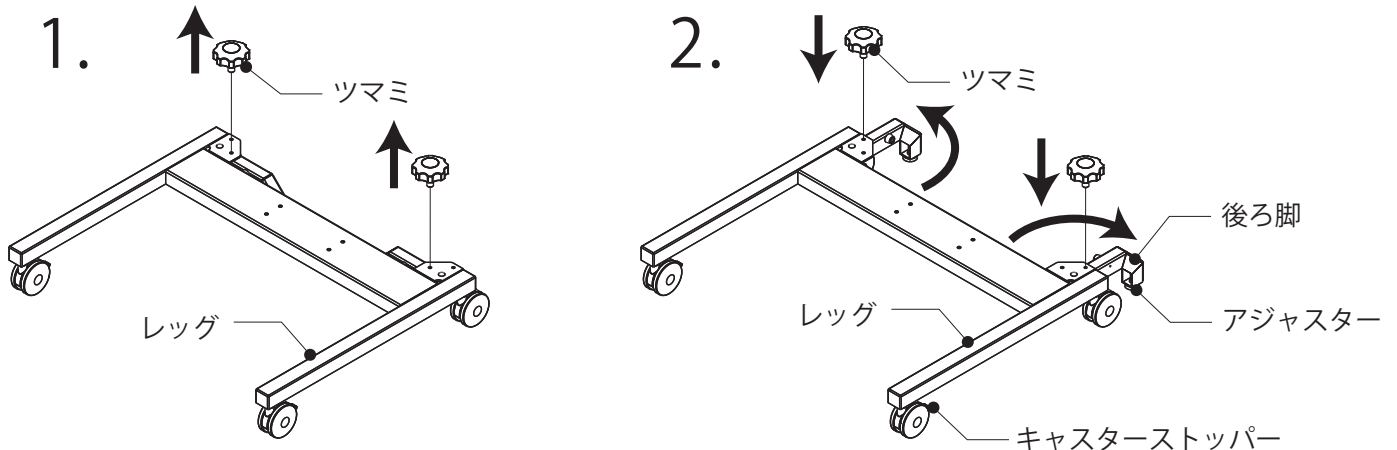
FLスタンド〈スタンダードタイプ〉 梱包部品

<p>支柱…1個</p>	<p>モニターブラケット受け …上下各1個</p>	<p>棚板…1個</p>	<p>キャップボルト (M8×20) …4本 キャップボルト (M10×80) …4本</p>
	<p>モニター金具受け …左右各1個</p>	<p>座金組込ネジ (M6×14) …4本 (M6×18) …4本</p>	<p>あて板…2枚</p>
<p>レッグ…1個</p>	<p>モニターブラケット…2個</p>	<p>フランジナット (M5) …4個</p>	<p>六角レンチ (対辺 8 mm) …1本 六角レンチ (対辺 6 mm) …1本</p>
		<p>M6 ネジ取付用スペーサー…4個</p>	<p>取扱説明書…1部</p>

■「レッグ」の後ろ脚を広げる

組立中の転倒防止のため、折りたたまれている「レッグ」の後ろ脚を広げます。

1. 「レッグ」後部の「ツマミ」2個を取り外します。
2. 「レッグ」の後ろ脚を広げ、後ろ脚が固定されるように「ツマミ」2個を取り付けます。
次に、後ろ脚の「アジャスター」2箇所を床に接する位置まで調整します。
3. キャスターストッパーをロックしてください。

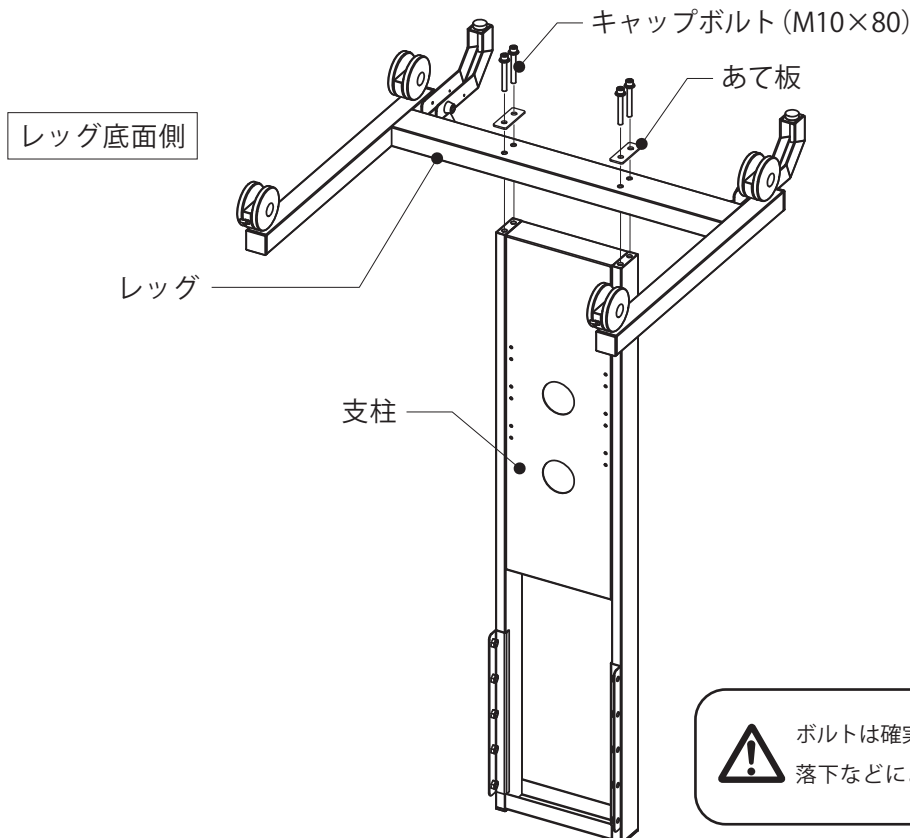


組立の際は、転倒防止のため「レッグ」の後ろ脚を広げた状態で作業を行ってください。
後ろ脚を折りたたんだ状態で作業を行うと、本製品の転倒などによる破損・けがの原因となります。

■「レッグ」に「支柱」を取り付ける

「レッグ」に「支柱」を取り付けます。

レッグ底面側の取付穴4箇所「あて板」2枚と「キャップボルト (M10×80)」4本を使用して取り付けてください。



使用する工具

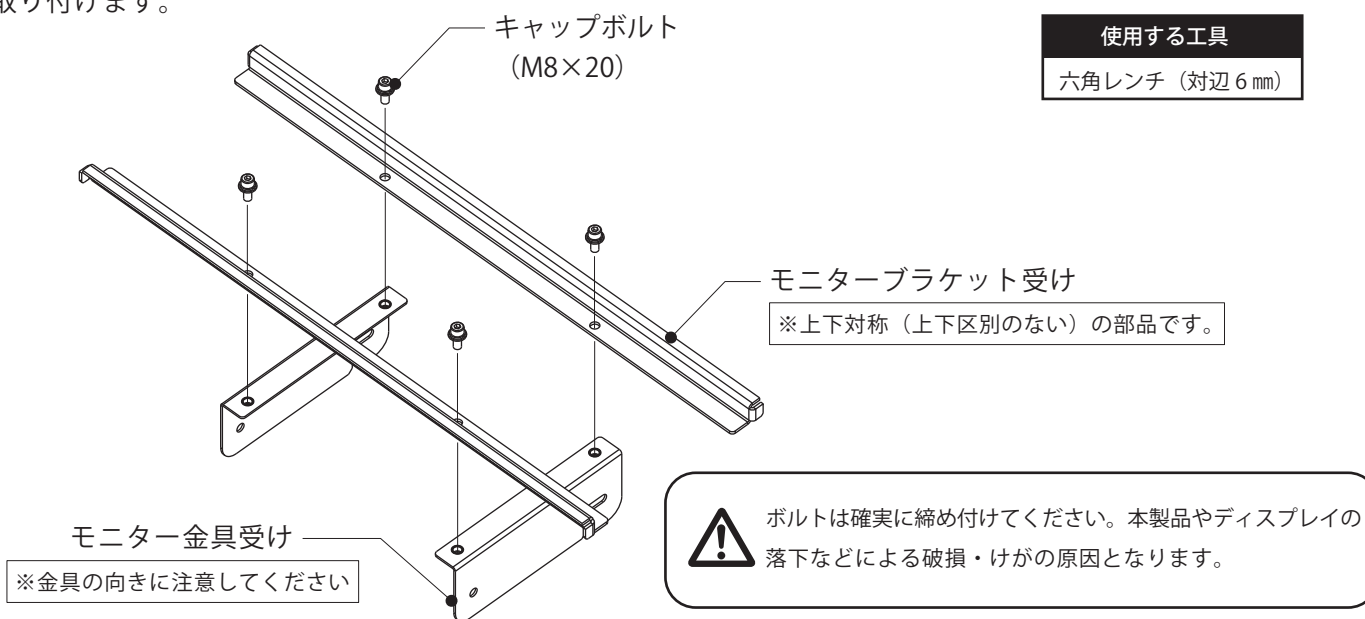
六角レンチ (対辺 8 mm)



ボルトは確実に締め付けてください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

■ 「支柱」に「モニター金具受け」を取り付ける

1. 「キャップボルト (M8×20)」4本を使用して、「モニターブラケット受け」に「モニター金具受け」左右各1個を取り付けます。



2. 「モニター」は3段階で「高さ調整」が可能です。

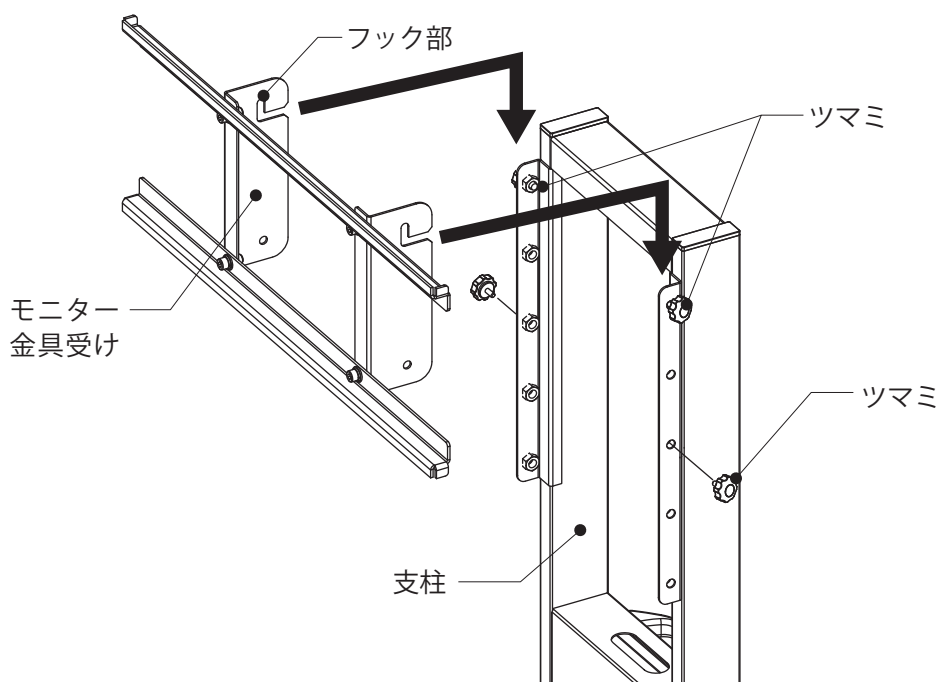
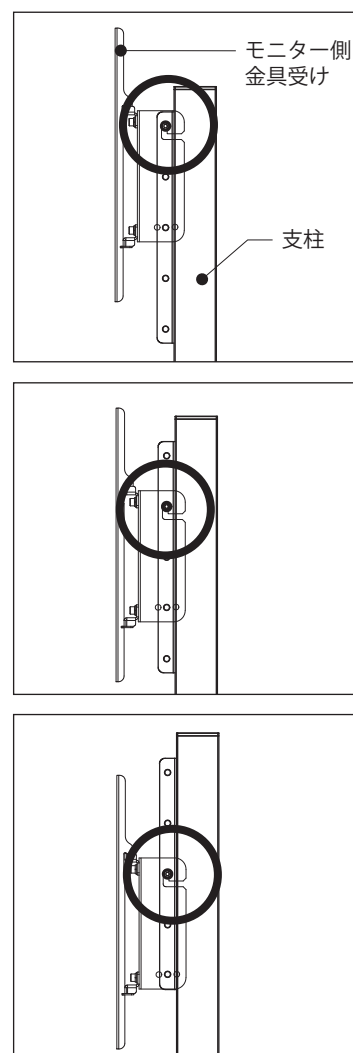
右図を参考に、任意の取付穴位置に「つまみ」2本を半分程度差込みます。

次に、差し込んだ「つまみ」に「モニター金具受け」のフック部を引っ掛けます。

「モニター金具受け」の下部取付穴に「つまみ」2本を取り付けて固定します。

最後に「モニター金具受け」のフック部の「つまみ」2本を本締めしてください。

【高さ調整取付穴位置】



■ 「モニターブラケット」をディスプレイに取り付ける

付属の「座金組込ネジ (M6×14 / M6×18)」の中から、ディスプレイ取付穴に合ったネジを選定し、「モニターブラケット」をディスプレイに取り付けてください。

※M6ネジ使用時のみ「M6ネジ取付用スペーサー」を使用してください。

使用する工具

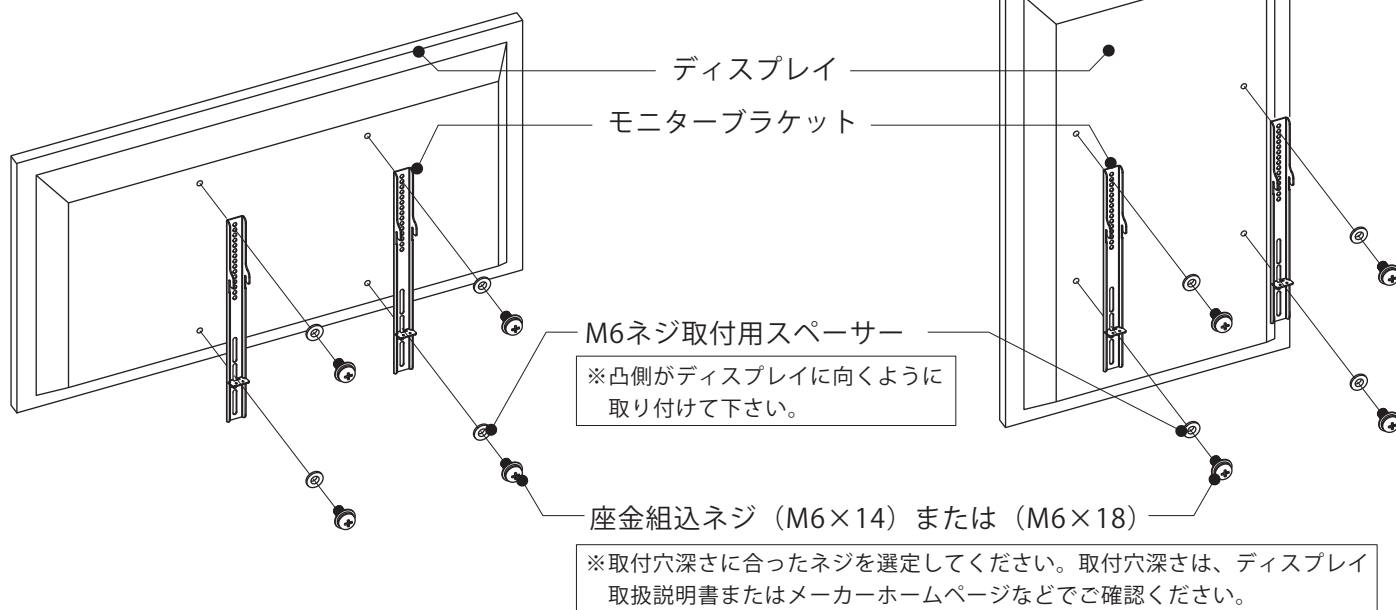
プラスドライバー (別売)

取付穴径がM6のディスプレイ

【ヨコ設置の場合】

【タテ設置の場合】

※タテ設置の場合、「モニターブラケット受け」がディスプレイ背面からはみ出す場合があります。



取り付けの際は、取付穴深さをディスプレイ取扱説明書・メーカーホームページなどで確認の上、深さに合ったネジを選定してください。



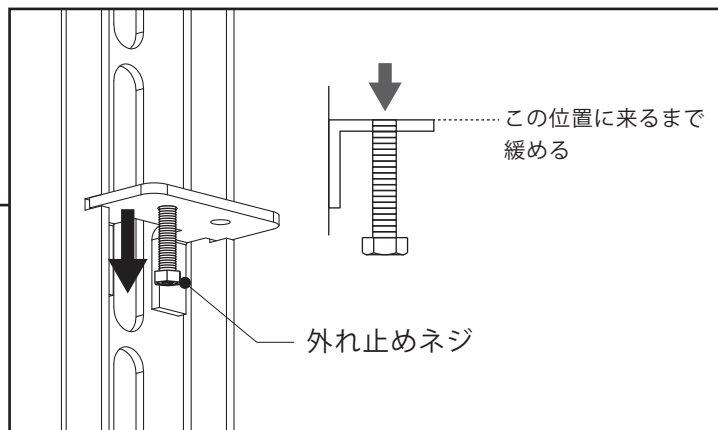
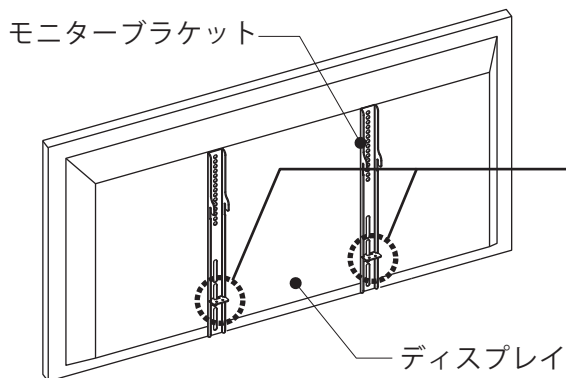
ネジは確実に締め付けてください。ディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

■ ディスプレイを「モニターブラケット受け」に取り付ける

1. 「モニターブラケット」の「外れ止めネジ」を緩めてください。

使用する工具

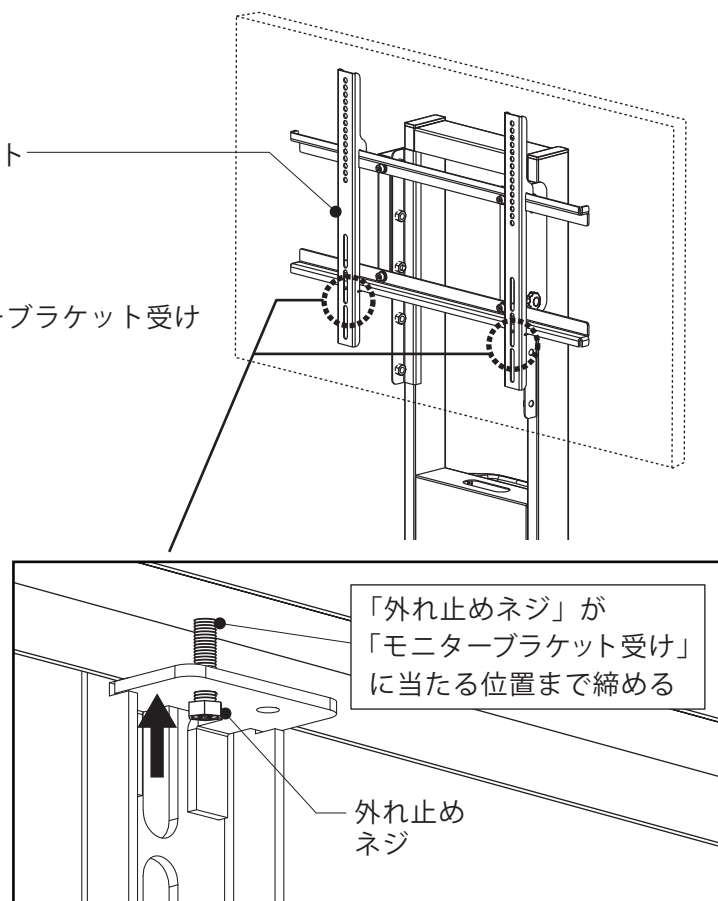
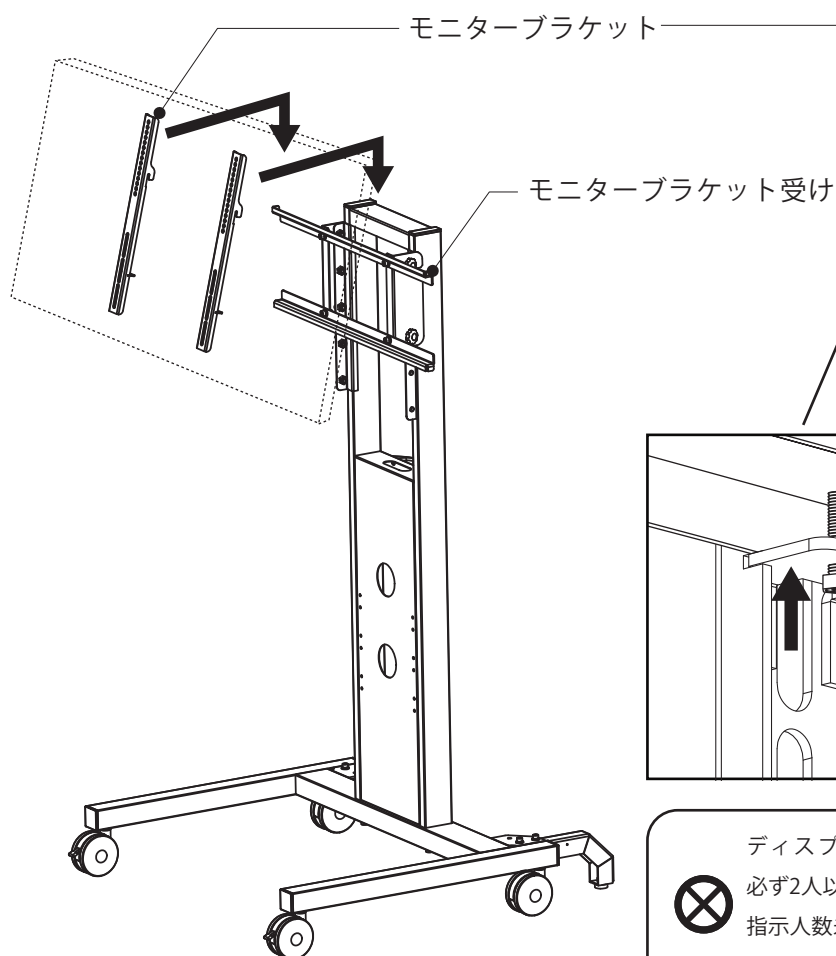
プラスドライバー（別売）



2. 「モニターブラケット」上部にあるツメを「モニターブラケット受け」上部に引っ掛け、「モニターブラケット」の「外れ止めネジ」を「モニターブラケット受け」に当たる位置まで締めてください。

使用する工具

プラスドライバー（別売）

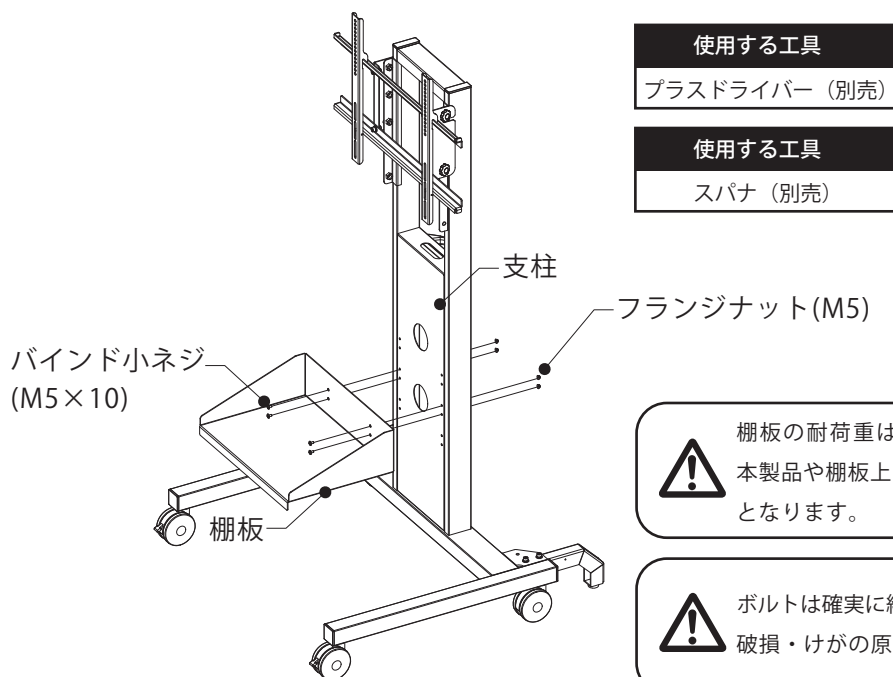


ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しする際は、必ず2人以上（52V以上は4人以上）で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

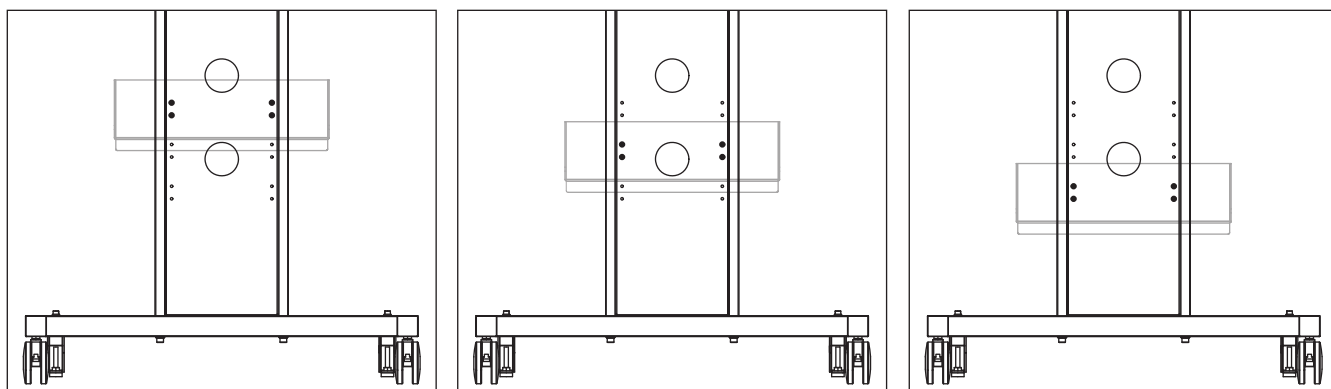
■ 「棚板」を取り付ける

1. 「支柱」に「棚板」を取り付けます。

「棚板」は3段階で「高さ調整」が可能です。下図を参考に、任意の取付穴位置に「バインド小ネジ(M5×10)」4本と背面から「フランジナット(M5)」を使用して「棚板」を取り付けます。



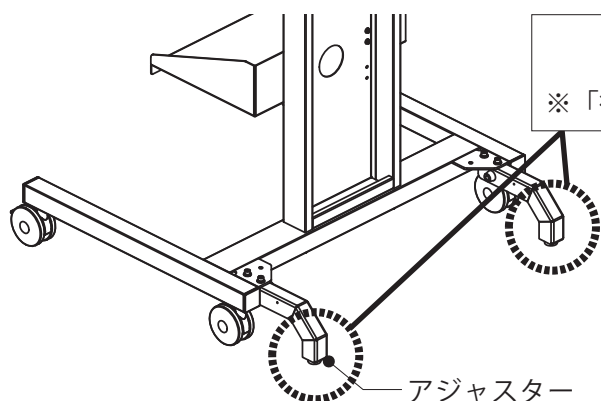
【高さ調整取付穴位置】



■ スタンドの設置について

「後ろ脚」の収納機能は移動時のための機能ですので、スタンドを設置する際は必ず「後ろ脚」を広げ、「後ろ脚」の「アジャスター」が床に接した状態で設置してください。

※「後ろ脚」の取扱方法は、P3『「レッグ」の後ろ脚を広げる』を参照してください。



「後ろ脚」を広げた状態で設置する

※「後ろ脚」の「アジャスター」は床に接するよう調整を行う



転倒防止のため「レッグ」の後ろ脚を広げた状態でスタンドを設置してください。後ろ脚を折りたたんだ状態で設置すると、本製品の転倒などによる破損・けがの原因となります。